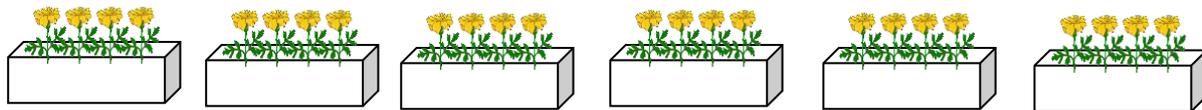


アルプス花街道通信

令和2年度
VOL.2
(R2.9月)



アルプス花街道活動区画の巡視を行いました！

アルプス花街道実行委員会理事及び事務局により、本年度の全植栽区画の巡視を行いました。本年度は全体的には良く咲いているものの、8月の猛暑のためか枯れている株もいくつか見られました。また、除草等の管理状況について区画ごとの差が目立つ箇所も見受けられました。より良い景観を保つように管理をお願いします。各区画の状況をお知らせします。

<p>安曇野インター北</p> 	<p>田沢街道</p> 	<p>国道403号</p> 
<p>穂高駅前通り</p> 	<p>堀金広域農道</p> 	<p>三郷サラダ街道</p> 
<p>中萱堰</p> 	<p>たつみ認定こども園南</p> 	<p>国道147号</p> 
<p>安曇野市老人クラブ連合会</p>		
		

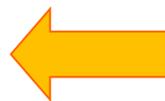


刈り取ったマリーゴールドの活用について

刈り取ったマリーゴールドの有効な活用方法について紹介します。

◎花卉を活かした染物づくり

- ①色づきをよくするため、染めたい物を牛乳又は豆乳で15分ほど浸し、取り出して乾かします。（牛乳・豆乳に含まれるたんぱく質を利用して着色しやすくします。）
- ②マリーゴールドを不織布に入れて鍋で色素を煮出します。（煮汁はまた使います。）
- ③ ①の布を②の鍋に入れて着色します。（70度くらいで約30分。）
- ④ ③に1リットル当たりスプーン一杯のミョウバンを解かし、軽く絞った布を約30分浸した後、水洗いをします。③～④を何度か繰り返します。
- ⑤日陰で干して完成です。



完成品です！
布の端っこを輪ゴムで縛ると模様をつけることができます。

◎農作物にとって害虫であるセンチュウの予防

マリーゴールドは緑肥植物として利用することができます。マリーゴールドを土壤に鋤きこむことによって、ある種のセンチュウを予防することができます。

はさみやカッターで10cm程度に切って別の場所に堆肥として腐熟させたものを畑に均一に撒きましょう。また、鋤きこみの時期が重要となり、露地栽培の場合は定植、種まきの1ヶ月前に鋤きこみましょう。



今後の管理のポイント

- ◎水やりは大切ですが、与えすぎると（特にマルチ使用箇所）蒸れて枯れやすくなります。
- ◎花が腐り病気にかかりやすくなるので、水やり時に花に水をかけないようにしましょう。
- ◎風通しを良くしましょう。マリーゴールドは蒸れに弱いと言われます。密生してきたら葉を間引きます。
- ◎夏に元気がなくなってきたら、半分くらいに切り戻しましょう。秋にまた花が咲きます。
- ◎花が終わったらすぐに摘み取りましょう。

【アルプス花街道実行委員会事務局】 （事務局補佐）〒399-8281 安曇野市豊科 6000 番地
事務局長：若松 榮 安曇野市役所 地域づくり課 担当：坂口
電話：71-2494（直） FAX：72-3176

【発行日】令和2年9月4日

【発行・編集】アルプス花街道実行委員会事務局